

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成20年12月13日

## 【評価実施概要】

事業所番号	0174600551		
法人名	株式会社 しらかば		
事業所名	グループホーム たんぽぽ		
所在地	北海道帯広市東5条南14丁目1番地1 (電話) 0155-20-5837		
評価機関名	タンジント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成20年12月12日	評価確定日	平成20年12月19日

## 【情報提供票より】(平成20年11月1日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)15年4月21日		
ユニット数	2ユニット	利用定員数計	18人
職員数	16人	常勤	10人, 非常勤 6人, 常勤換算 13.75人

### (2) 建物概要

建物構造	鉄骨 造り		
	2階建ての ~ 2階部分		

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	22,500円	その他の経費(月額)	23,500円
敷金	有(円) 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) 無	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,400円		月額

### (4) 利用者の概要(11月1日現在)

利用者人数	18名	男性	5名	女性	13名
要介護1	6名	要介護2	6名		
要介護3	6名	要介護4			
要介護5		要支援2			
年齢	平均 81歳	最低	58歳	最高	93歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人社団博仁会 大江病院	医療法人 啓和会 黒澤病院	つがやす歯科医院
---------	----------------	---------------	----------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

帯広市内のほぼ中心部に位置し鉄骨造り2階建てで1階は介護付有料老人ホーム、2階は2ユニットの併設型のグループホームです。秋には、職員と利用者が一緒になって中札内の農家に出向いて大根などの野菜を自ら収穫してきて醤油漬け、にしん漬けやたくあんなどの漬物づくりをしながら楽しみごとや生活への支援が行われています。また、ホーム主催の「夏祭り」や保育園、幼稚園との相互訪問での園児との交流、調理師専門学校生の訪問など地域の住民や町内会の人々との交流が促進されています。「たんぽぽ通信」では、認知症についての簡潔な記事も掲載され運営推進委員や町内会に配布されて認知症に対する理解や広報に取り組みられています。

## 【重点項目への取組状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回評価では、緊急時の対応の定期的な実施が改善点として挙げられていましたが、防火管理者が選任され火災避難訓練、救急救命訓練が定期的な実施されています。また、緊急時に備えた非常食も保管され対応されています。</p> <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、具体的な改善活動に利用されケアサービスの質の向上に取り組まれています。また、外部評価の結果については運営推進会議に報告され意見交換されています。</p>
	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>運営推進会議は、2~3ヶ月毎に開催され主な議題については ホーム年間行事予定について 防災訓練実施について 町内会班長の受託活動について 地域の老人会の来訪について 夏祭り行事開催について</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>苦情受付窓口を分かりやすい場所に明示して、苦情や意見など表せる機会が確保されています。また、利用料の持参の際には、日頃の生活の様子や状態変化など話し合わせ家族の不安への対応や要望など聞き運営に反映される取り組みが行われています。緊急を要する場合には、都度電話等で詳細な報告が行われています。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>保育園、幼稚園との相互訪問や運動会見物などで園児との交流が行われていたり、調理師専門学校生の訪問やホーム主催の「夏祭り」では、地域の人々や家族など参加して盛大に開催されています。また、町内会の班長を引き受けて広報誌などの配布や町内会の清掃や焼肉などの行事に参加して、日常生活を通じて地域の人達との交流や連携に取り組まれています。</p>

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている。また、職員は常に携帯して共有している。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者、職員は、理念を共有し、その実践のために具体的な「五つの願い」「七つの誓い」を掲げ日々取り組んでいる。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	保育園児、幼稚園児との交流やホーム主催の「夏祭り」では、地域の人々や家族など参加して盛大に開催されている。また、町内会の班長を引き受けて広報誌などの配布や町内会の清掃や焼肉などの行事に参加して、日常生活を通じて地域の人達との交流や連携に取り組まれている。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、具体的な改善活動に利用されケアサービスの質の向上に取り組まれている。また、外部評価の結果については運営推進会議に報告され意見交換されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は、ほぼ2~3ヶ月毎に開催されている。委員は、家族、町内会役員、民生委員、老人クラブ役員、ボランティア連絡協議会役員及びホーム長・管理者・職員で構成され具体的改善に取り組んでいる。		
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	事業所は、市との連携の重要性について認識しており、サービスの向上に日々取り組んでいる。また、日常業務を通じて相談や意見交換が行われている。		今後は、出前講座のさらなる利用促進などが検討されているので、その実践に期待します。
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	定期的に「たんぽぽ通信」を発行して、家族や運営推進委員、町内会の人々にも配布され、利用者の暮らしぶりや室内運動会やお花見、外食ツアーなどのホーム行事参加の様子など報告されています。また、状態変化時などの報告も随時行われています。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情受付窓口を分かりやすい場所に明示して、苦情や意見など表せる機会が確保されている。また、利用料の持参の際には、日頃の生活の様子や状態変化など話し合わせ家族の不安への対応や要望など聞き運営に反映される取り組みが行われている。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動や離職を必要最小限に抑える努力をしている。また、職員の異動などで利用者に影響を与えないように配慮する取り組みをしている。		今後は、職員の顔と名前、その日の勤務者が分かりやすいように掲示をするなど検討されることを期待します。


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	十勝支庁や帯広市、グループホーム協議会など外部研修参加を推進している。また、職員の自己啓発や知識習得へのモチベーションも高く、資格取得には法人も積極的に支援している。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協議会での交流や同一法人内の他施設との連携が行われている。また、「夏祭り」では、他の施設の職員や入居者も参加して盆踊りなどが行われ同業者との交流が行われています。		
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく入居前には、利用者・家族の見学などで不安を解消する取り組みや、場の雰囲気に馴染めるよう工夫している。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員と利用者が一緒になって、食事の後片付けや洗濯物たたみ、漬物漬け、貼り絵や畑作業など過ごしながらか支えあう関係を築いている。		特筆すべき点として、秋には、職員と利用者が一緒になって中札内の農家に出向いて大根などの野菜を自ら収穫してきて醤油漬け、にしん漬けやたくあんなどの漬物づくりをしながら楽しみごとや生活への支援、本人と共に過ごし支えあう関係を築いている。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向を把握して火気に注意しながら喫煙の支援をしたり、散歩や買い物、公園や菖蒲園へのドライブ、バイキングなどの外食など本人本位に取り組まれている。		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	介護支援専門員の適切な監理のもとに、利用者、家族の希望や看護師、医師からの助言・情報や職員からの意見を取り入れ具体的な介護計画となっている。		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	介護計画書に記載している個別の期間を目安に3ヶ月毎に評価を行い、見直しが行われている。また、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、現状に即した介護計画の見直しが行われている。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	本人や家族の状況、その時々要望に応じて、通院への支援や散歩や買い物など柔軟に支援を行っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	常勤の看護職員が配置され、かかりつけ医との連携で気軽に相談できる医師が確保されている。また、利用者、家族の希望や要望に応じて状態変化などについても往診など適切な医療が受けられるよう支援されている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期のあり方について、利用者・家族とも段階的に相談しながら慎重に検討対応するよう職員間で共有されている。		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	一人ひとりの誇りやプライバシーを尊重した言葉かけなど取り組まれている。また、記録等の個人情報の扱いについては、配慮された取り組みが行われている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースを大切に、入浴への支援や漬物漬け、行事参加、団子づくりなど本人の希望に沿って支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、職員と一緒に食事の準備や片付けをしている。また、焼肉やバイキングなど外食の支援も行われている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、週2回を目安に入浴が支援されている。また、24時間対応できる湯加減になっている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの生活歴や力を活かしながら、野菜の栽培や漬物漬け、ちぎり絵やはり絵、カラオケや洗濯物たたみなど支援されている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	紅葉狩りや公園散歩、浴衣を着てホーム主催の夏祭りや盆踊りの参加、菖蒲園や公園までのドライブなど戸外に出かけられるように支援されている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、自由に出入りができるように取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>防火管理者が選任され火災避難訓練、救急救命訓練が定期的実施されている。また、緊急時に備えた非常食も保管され対応されている。</p>		<p>今後は、緊急時に一時的に避難する場所を検討することを期待します。</p>
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>栄養士の指導のもと栄養バランスや摂取カロリーは把握されている。また、具体的な水分・食事摂取量についても記録され対応されている。</p>		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ホーム内には、家族が宿泊可能な和室や会議室も用意されていたり、共用空間では、利用者が職員や来訪者の視線や圧迫感を遮る工夫された構造になっている。また、利用者にとって気になる臭いや不快な音の大きさ、光の強さは感じられない。共用空間の壁には、職員と利用者と一緒に作った貼り絵など飾られ季節感が感じられる。</p>		<p>特筆すべき点として、ホーム内はとにかく広く、歩行訓練に利用されたり、運動会も開催され日常生活を通じての身体機能の維持・向上への取り組みが行われている。</p>
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>家族が宿泊できるホテル並みの和室や会議室が用意されている。また、居室には、仏壇や使い慣れた家具、テレビなどが持ち込まれ安心して過ごせる場となっている。</p>		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。